

3類型	農林水産物	通巻番号	9-19-002
地域資源名	沖縄島野菜(紅イモ)	認定日	平成19年10月12日
地域	沖縄県名護市	所管省庁	財務省、農林水産省、経済産業省

事業名: 沖縄県産紅イモを活用した焼酎作り

会社名: ヘリオス酒造株式会社

所在地: 沖縄県名護市字許田405

連絡先: TEL: 0980-52-3372
FAX: 0980-52-0878

H P: <http://www.helios-syuzo.co.jp/index.html>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・沖縄県内の紅イモは生での県外出荷が禁止されており、また、加工も菓子類に限定され、紅イモを活用した新商品開発が望まれている。
- ・沖縄の地域資源を活用した新しい酒類の開発ということが事業着手のきっかけ。
- ・近年のイモ焼酎の堅調に増大する市場も開発着手にいたった理由の一つ。
- ・さつまいもは約400年前に沖縄に伝来しており、日本で最も古くから食していたのは沖縄という歴史がある。また、近年、観光土産品で紅イモ菓子がヒットしており、沖縄産紅イモの周知性が高まっている。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・さつまいも伝来の地の紅イモを活用しているという歴史的背景を売りとしている。

◆市場性

- ・イモ焼酎の市場規模は約1,600億円(平成18年)。現在も堅調に増加している。

◆販路

- ・空港等での観光土産品販売のほか、これまでの流通体制を活かした首都圏等の沖縄料理店、各種飲食店への販路展開を図る。

地域資源における関係事業者との連携

- ・紅イモの安定供給を図るため、当該企業の工場が立地する八重瀬町お呼び地元イモ生産組合と連携。
- ・生産農家の拡大、栽培面積の拡充が見込まれるため新たな特産品を模索している地元の期待も大きい。



ヘリオス酒造外観



くら(ヘリオス酒造商品)



紅いも



酒甕